



とうきょう総文2022

開催期間 令和4年7月31日[日]〜8月4日[木]

通信 第37号③

「とうきょう総文2022通信」では、「第46回全国高等学校総合文化祭」に向けた取組を発信してきました。本号では3面構成で開催の様子を紹介します。3面は部門大会です。部門大会の様子は、9月以降の通信でも紹介する予定です。

生徒が主体的に運営する部門大会 各会場で開催！

特別支援学校部門



7月31日から8月4日の5日間にわたり、特別支援学校の生徒が各部門大会で大いに躍動しました。高等学校等の生徒と共同での作品展示、各会場での学校生製品の販売など、日頃の学習の成果や部活動での練習の成果を、存分に発揮しました。

書道部門



書道部門全国展は東京都美術館にて各都道府県の代表として選抜された全国トップレベルの高校生の作品300点と特別支援学校の生徒の作品4点を展示し、4,000人を越える多くの方々に御鑑賞いただきました。交流会では、軍道紙と江戸唐紙を用いて作ったミニ巻子に、参加生徒がグループに分かれ江戸文字を揮毫しました。

マーチングバンド・バトントワリング部門



マーチングバンド・バトントワリング部門大会では、全国から集まったマーチングバンドのダイナミックな演奏、バトントワリングの華麗な演技に魅了されました。生徒実行委員による生徒交流会や衣装展示なども好評でした。大会に関わっていただいた全ての皆様に心から感謝申し上げます。

ボランティア部門



8月2日から8月4日の3日間にわたり、ボランティア部門大会が盛大に開催されました。北海道から沖縄まで各地の参加校と有意義に交流することができました。オリンピック・パラリンピック教育のレガシーを発揮し、高校生の自発的な活動について様々な提案が出されました。

軽音楽部門



3日間にわたり演奏を行いました。各バンドの演奏は御来場くださった皆さんの心に残るような素晴らしい演奏でした。また、新型コロナウイルス感染症の影響はありましたが、多くの話し合いを重ね、大会を無事に開催することができました。来年も素晴らしい大会となることを願っております。本当にありがとうございました。